

平成30年度 開明中学校・高等学校 学校評価

1 めざす学校像

【建学の精神】

校訓「研精而不倦」(本校では、知・徳・体すべてにわたって自己を磨き続けることと解し、教育活動の実践的な柱としています。)

【教育目標】

- 1 男女共同参画社会において、社会のリーダーとして活躍する人間の育成
- 2 文系・理系を問わず、理数の素養を身につけ、21世紀の情報化社会に対応できる人間の育成
- 3 世界的視野に立ち、国際感覚に富む人間の育成
- 4 思いやりの心を持ち、社会的常識を備えた人間の育成
- 5 正しい生活習慣を身につけた、心身ともに健全な人間の育成

2 中期的目標

1 学習指導・進路指導

- (1) 授業改革(これまでの小テストを中心とした学習スタイルから、よく考えて勉強する良い学習習慣への転換を図るべく、学校全体で「授業改革」というスローガンを掲げて進める。)
- (2) 学ぶことの「意味」と「楽しさ」の追求
- (3) 指導力の向上

2 生徒指導・人権健康教育

- (1) 授業規律
- (2) 校則遵守
- (3) いじめの防止

3 行事・クラブ活動

- (1) 行事への積極的な参加
- (2) クラブ活動への自由な参加

4 施設・設備

- (1) 新校舎のフル活用

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [生徒・保護者：平成30年12月実施、教職員：平成31年2月実施]	学校評価委員会からの意見
<p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 肯定的評価が増加した主な項目           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ この学校の給食は充実している。(中学 肯定率 49.6%。昨年度より 14.2%増。)</li> <li>・ 私の学年の行事の数は適切である。(中学 肯定率 89.8%。昨年度より 6.6%増。)</li> <li>・ 道徳やHRの時間などで将来の進路や生き方について考えさせてくれる。(中学 肯定率 69.7%。昨年度より 5.9%増。)</li> </ul> </li> <li>○ 肯定的評価が減少した主な項目           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私は予習や復習をして授業を受けている。(高校 肯定率 66.3%。昨年度より 5.8%減。)</li> <li>・ 私は宿題や課題があればきちんと取り組んでいる。(高校 肯定率 80.6%。昨年度より 5.0%減。)</li> <li>・ 私のクラスに来る先生は、私語や居眠りを放置せず、よく注意する。(中学 肯定率 83.0%。昨年度より 4.0%減。)</li> </ul> </li> </ul> <p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 肯定的評価が増加した主な項目           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラブ活動は、活動を希望する生徒が楽しく参加できるように行なわれている。(中学 肯定率 79.7%。昨年度より 5.0%増。高校 肯定率 74.5%。昨年度より 5.6%増。)</li> <li>・ 学校行事は、子供たちが楽しく参加できるように行なわれている。(高校 肯定率 86.3%。昨年度より 4.3%増。)</li> </ul> </li> <li>○ 肯定的評価が減少した主な項目           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ この学校は、地震や台風など非常時の緊急連絡体制を保護者に知らせている。(中学 肯定率 66.2%。昨年度より 12.5%減。高校 肯定率 70.5%。昨年度より 15.1%減。)</li> <li>・ 子供は、この学校に入って以来、家庭学習の時間が増えている。(高校 肯定率 71.3%。昨年度より 5.8%減。)</li> </ul> </li> </ul> <p>【教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 肯定的評価が増加した主な項目           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私は、現在担当しているクラス、生徒の学習到達度にほぼ満足している。(肯定率 52.9%。昨年度より 8.7%増)</li> <li>・ 本校では、必要な教育課題での校内研修を実施し、教職員の教育力向上に努めている。(肯定率 72.4%。昨年度より 8.5%増。)</li> </ul> </li> </ul>	<p>令和元年5月18日に学校評価委員会を開催。</p> <p>中学生徒および高校生徒の学習指導の項目では、肯定評価がすべて80%を超えているが、生徒自身の学習のふり返りや保護者の学指導の項目では、必ずしもそこまでの高い数値は出ていない。教員側も現状に満足することなく、指導がこれまで以上に生徒に浸透するように努めていかなければならない。</p> <p>行事やクラブ活動に関するほとんどの項目の肯定評価が、生徒・保護者とも上がっている。昨年度よりも生徒たちがそれらの特別活動の意義をよく理解し楽しく参加できているのではないかと考えられる。</p> <p>非常時の緊急連絡体制の項目では、大きく肯定評価の値が下がった。これは昨年度、大地震や台風で交通機関が大きく乱れた事を受けてのことであろうと考えられる。学校としては9月に「暴風警報発令時および交通の乱れ等による授業措置について」という文書を保護者に配付し、従来よりも実態に合った対処になるように努めているが、迅速な生徒の安否連絡など課題が残っている。必要に応じてさらに改善を加えていきたい。</p> <p>給食については、肯定率は昨年度より大幅にアップしたが、まだ50%を超えるところまで行っていない。引き続き生徒の意見もよく聞き、給食業者とも相談して改善を図りたい。</p>

<p>○ 肯定的評価が減少した主な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本校では、生徒が大学に限らず、将来の職業についても興味、関心を持てるように、学年に応じたキャリア教育を行なっている。(肯定率 51.7%。昨年度より 9.9%減。)</li> <li>・ 本校では、生徒に清掃、校内美化に取り組ませ、施設設備を大切にする心を養っている。(肯定率 64.4%。昨年度より 10.1%減。)</li> </ul>	
---	--

3 PDCAサイクルに基づく学校の重点目標に対する評価結果

中期的目標	Plan		Do	Check	Action
	重点的に取り組むことが必要な目標	評価指標	取組状況	達成状況	今後の改善方策
1 学習指導・進路指導	(1) 授業改革	ア「私のクラスでは、内容の分かりやすい授業が多い。」(生徒アンケート) イ「私は、予習や復習をして授業を受けている。」(生徒アンケート)	ア 基礎学力の定着と学習意欲の向上に努め、手厚く丁寧な学習指導を実践 イ 予習復習にきちんと時間を割き、授業を中心とした学習スタイルを身に付けさせる	ア 中学 肯定率 88.7%。昨年度より 2.5%減。 高校 肯定率 87.3%。昨年度より 1.8%増。 イ 中学 肯定率 62.1%。昨年度より 4.2%増。 高校 肯定率 66.3%。昨年度より 5.8%減。	肯定率は高いが、引き続き分かりやすい授業を追求していきたい。一方、授業の予習・復習実行の肯定率が60%台に留まっている。予習復習が授業内容吸収のためには大切であることを生徒に浸透させていきたい。
	(2) 学ぶことの「意味」と「楽しさ」の追求	ア「H.R(道徳)の時間などで将来の進路や生き方について考える機会がある。」(生徒アンケート)	ア 進路講演会の実施やH.R(道徳)などで将来の進路や生き方について考えさせる	ア 中学 肯定率 69.7%。昨年度より 5.9%増。 高校 肯定率 71.1%。昨年度より 1.3%増。	30年度は、中2～高1生対象に、社会の第一線で活躍する卒業生3人を招き進路講演会を実施した。また、高1生対象に、卒業生による大学・学部・研究内容の紹介イベントも行った。次年度以降もこのような進路を考えさせる取組を継続したい。
	(3) 指導力の向上	ア「本校では、教員間で授業を見学したり、授業の内容等について意見交換を行う機会を設けている。」(教職員アンケート)	ア 研究授業(教員間での授業見学)の実施により、指導力のアップを図る	ア 肯定率 79.3%。昨年度より 0.2%増。	年3回、各教科全員参加の研究授業を行ない、その後に教科会議も開いているが、内容をさらに充実させていきたい。 また、予備校講師を招いて、入試問題分析会を実施したり、予備校の教員研修プログラムにも参加している。こちらもさらに充実させていきたい。
2 生徒指導・人権健康教育	(1) 授業規律	ア「私のクラスに来る先生は、私語や居眠りなどはよく注意する。」(生徒アンケート)	ア 授業規律についての基本的な考え方を確認し、指導の統一性を図る	ア 中学 肯定率 83.0%。昨年度より 4.0%減。 高校 肯定率 80.4%。昨年度より 2.1%増。	授業は学校生活の中心であり、授業規律は良い授業の前提である。さらなる改善を追求したい。
	(2) 校則遵守	ア「私は、校則を守っている。」(生徒アンケート)	ア 校則(あいさつの励行、環境美化、服装、頭髪、礼儀、通学時のマナー、男女交際等)の遵守に努める	ア 中学 肯定率 86.9%。(昨年度より 1.2%増) 高校 肯定率 89.3%。(昨年度より 1.2%増)	肯定率は高いが、校則遵守の意識をさらに高めていきたい。
	(3) いじめの防止	ア「この学校は、人権侵害や差別を許さない教育、特にいじめの防止にはしっかり取り組んでいる。」(生徒アンケート)	ア いじめは絶対許さないというクラスの雰囲気づくりや人間関係づくりに努める	ア 中学 肯定率 80.2%。昨年度より 1.5%減。 高校 肯定率 79.6%。昨年度より 0.4%増。	さらに肯定率が上がるように、引き続き「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止に取り組んでいきたい。
3 行事・クラブ活動	(1) 行事への積極的な参加	ア「行事は、生徒みんなが楽しく参加できるように行なわれている。」(生徒アンケート)	ア 行事の意義を理解させ、生徒の積極的な参加を図る	ア 中学 肯定率 83.5%。昨年度より 3.3%増。 高校 肯定率 76.6%。昨年度より 2.9%増。	中高とも肯定率が上がったが、実施される多くの行事のそれぞれの意義を明確にし、より一層生徒がいきいきと参加できるように取組になるよう、引き続き改善を図りたい。

	(2)クラブ活動への自由な参加	ア「クラブ活動は、活動を希望する生徒が楽しく参加できるように行なわれている。」(生徒アンケート)	ア クラブ活動の役割を重視し、より多くの生徒が参加できるよう態勢を整え、クラブ活動の活性化を図る	ア 中学 肯定率 78.9%。昨年度より 3.3%増。 高校 肯定率 77.6%。昨年度より 3.3%増。	中高とも肯定率が上がった。本校独自の「クラブ活動基準」を設けて誰でも参加しやすい形になっているが、楽しく参加できる生徒がさらに増えるように努めたい。
4 施設・設備	(1)新設備のフル活用	ア「この学校の施設設備は、学習環境の面でほぼ満足できる。」(保護者アンケート)  イ「この学校の給食は充実している」(中学生徒アンケート)	ア 新校舎の施設・設備を最大限に活用し、教育水準のグレードアップを図る  イ 栄養バランスの良い献立で、美味しく安全な料理の提供を図る	ア 中学 肯定率 94.0%。昨年度より 1.4%増。 高校 肯定率 93.4%。昨年度より 2.6%増。  イ 中学 肯定率 49.6%。昨年度より 14.2%増。	中高とも肯定率が上がった。地下温水プールの稼働率のアップ、オンライン英会話のパソコン教室での実施、日常的な教室での電子黒板の利用などがその要因であろう。こういった施設の有効利用をさらに進めたい。  給食については、肯定率は昨年度より大幅にアップしたが、まだ数値は低い。引き続き生徒の意見もよく聞き、給食業者とも相談して改善を図りたい。